

**KANSAI**

**Gateway to Your Business Success  
in Japan and Asia**

~ Kyoto, Osaka, Kobe ~

**Life Sciences**

**INVEST JAPAN, INVEST KANSAI**

**-2025・日本語-**

## はじめに

日本におけるライフサイエンス分野の現状	2
関西におけるライフサイエンス分野の特徴	3

## 1 再生医療分野

1-1 再生医療関連拠点マップ	4
1-2 再生医療に取り組む主な研究機関の紹介	5
1-3 再生医療のネットワーク、プロジェクト	6

## 2 医療機器分野

2-1 医療機器分野の状況	7
2-2 関西医療機器産業支援ネットワーク(KMSN)	8
2-3 医療機器分野を支える支援機関の取組	9

## 3 バイオものづくり分野

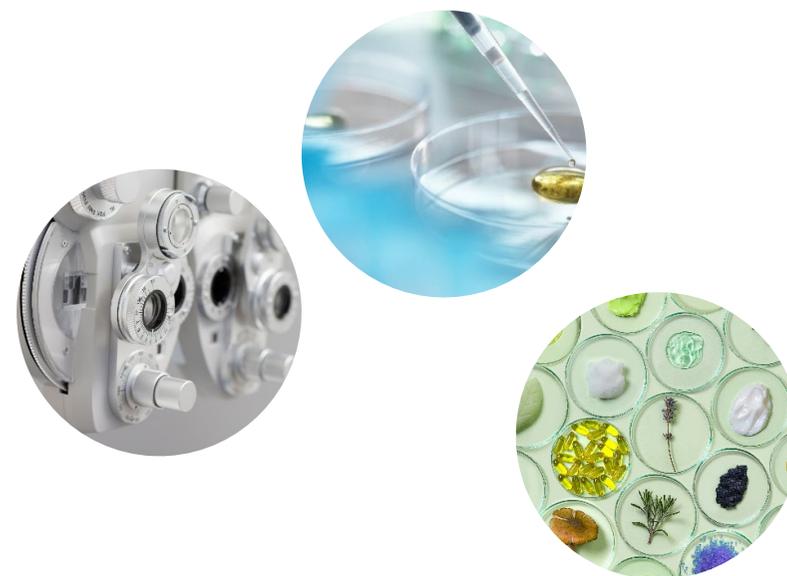
3-1 バイオものづくりを取り巻く環境	10
3-2 関西のバイオファウンドリ	11
3-3 バイオものづくり関連拠点マップ	12

## 4 海外企業進出事例

4-1 asap Lange Japan株式会社	13
4-2 DOLA株式会社	14
4-3 メドテックアクチュエーター合同会社	15

## 5 充実したサポート

5-1 関西地域のインキュベーション施設	16
5-2 関西の対日投資サポート体制	17
5-3 対日投資促進関連インフォメーション	18



# 日本におけるライフサイエンス分野の現状

## 日本におけるライフサイエンス分野の現状 ～バイオエコノミー戦略～

日本政府は、2019年に「2030年に世界最先端のバイオエコノミー社会を実現」することを目標に掲げる「バイオ戦略」を策定し、2024年に「バイオエコノミー戦略」に改定しました。

「バイオエコノミー」とは、バイオテクノロジーと生物資源を活用した持続可能な経済社会のこと。「バイオエコノミー戦略」では、石油や石炭といった化石資源への依存や食料不足、資源不足、海洋汚染など様々な社会課題を解決し、さらには持続可能な経済成長の両立に向けてバイオエコノミーの取組を行い、2030年に国内外で100兆円規模の市場創出を目指しています。

### バイオエコノミー市場規模



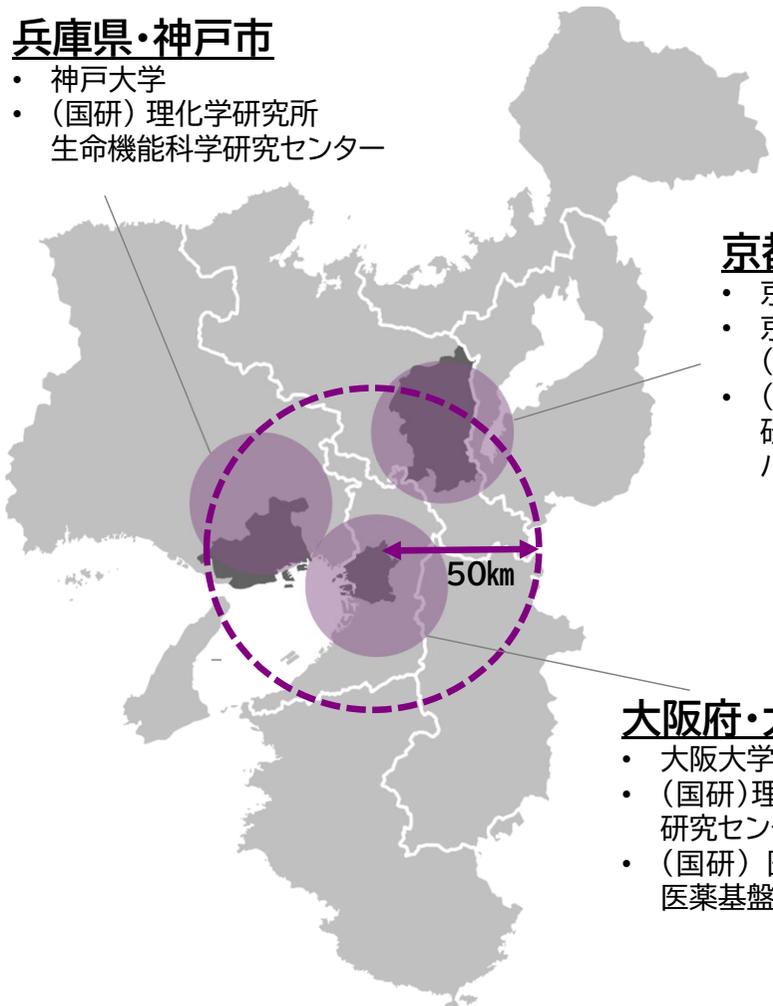
※「関西」とは、福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県を指します。

## 世界屈指の研究機関が集積する関西

- 関西では京都・大阪・神戸の三都市を中心とした集積が、30分から1時間程度で移動できる距離でコンパクトに集まっています。
- 関西には先端的な設備や装置を備える研究施設が多く集積しており、ライフサイエンス分野での基礎研究から応用研究、実用化研究を支える世界的な研究が行われています。

### 兵庫県・神戸市

- 神戸大学
- (国研) 理化学研究所 生命機能科学研究センター



### 京都府・京都市

- 京都大学
- 京都大学iPS細胞研究所 (CiRA)
- (公財)地球環境産業技術研究機構(RITE) バイオ研究グループ

### 大阪府・大阪市

- 大阪大学
- (国研)理化学研究所 生命機能科学研究センター
- (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所 医薬基盤研究所

## 関西におけるライフサイエンス分野の特徴

関西は、高度な研究開発を行う大学や研究機関、医薬品や医療機器等の企業の高い集積があるなど、産学官等の連携による大規模なライフサイエンスネットワークを形成しています。ここでは、特に関西が強みを持つ再生医療分野、医療機器分野、バイオものづくり分野の3つの分野に特化して紹介します。

### 再生医療



再生医療は手術や投薬など従来の手法では治療困難とされる疾患の根本治療に路を開くものであり、将来的には慢性疾患や高齢化に伴う疾患等への適用も期待され、その市場規模は2050年には世界で38兆円規模に達することが予想されています。

関西では、再生医療分野における企業のパートナーシップを促進することにより、再生医療の実現加速化と新産業の創出を目指しています。

### 医療機器



高齢化の進展や新興国の需要拡大を受け、医療機器のグローバル市場は拡大傾向にある一方で、我が国の医療機器産業は大幅な輸入超過の状況が続いています。

関西では、「企業の多様なものづくり技術力」、「集積するアカデミアの研究開発力」等の強みを活かして、医療機器開発エコシステムを構築し、先進的な医療機器開発プロジェクトの創出を目指します。

### バイオものづくり



バイオものづくりとは、遺伝子技術を活用して微生物や動植物等の細胞によって物質を生産することであり、化学素材、燃料、医薬品、動物繊維、食品等、様々な産業分野で利用される技術で、2030年から40年に世界で200兆円から400兆円の市場規模に達すると予測されています。関西では、先行事例及び有望技術の内容を踏まえた地域への普及啓発や地域企業の参入を促進するなど、バイオものづくりの早期社会実装を目指しています。

## 1-1 再生医療関連拠点マップ

### 京都府

#### <大学>

- 京都大学iPS細胞研究所(CiRA)
- 京都大学iPS細胞研究財団(iPS財団)
- 京都府立医科大学
- 京都工芸繊維大学
- 同志社大学

#### <インキュベーション施設>

- イノベーションハブ京都
- 京大桂ベンチャープラザ
- 京都市成長産業創造センター (ACT京都)
- 京都リサーチパーク
- クリエイション・コア京都御車

京都大学iPS細胞研究所(CiRA)、大阪大学や神戸大学をはじめとする各拠点で、世界をリードする再生医療に関する研究、産業化に向けた取組みが行われています。

### 福井県

#### <大学>

- 福井大学

### 滋賀県

#### <大学>

- 滋賀医科大学
- 長浜バイオ大学
- 立命館大学

#### <インキュベーション施設>

- 長浜バイオインキュベーションセンター (NBIC)

### 兵庫県

#### <大学等>

- 神戸大学医学部附属病院  
国際がん医療・研究センター (ICCRC)
- 甲南大学
- 兵庫医科大学
- 兵庫県立大学
- 神戸アイセンター
- 国際くらしの医療館・神戸

#### <インキュベーション施設>

- インターナショナルメディカルプラザ(IMP)
- クリエイティブラボ神戸(CLIK)
- 神戸医療イノベーションセンター(KCMI)
- 神戸医療機器開発センター(MEDDEC)
- 神戸キメックセンタービル
- 神戸健康産業開発センター(HI-DEC)
- 神戸国際ビジネスセンター (KIBC)
- 神戸ハイブリッドビジネスセンター(KHBC)
- 神戸バイオメディカル創造センター(BMA)
- 市民病院前ビル

### 大阪府

#### <大学>

- 大阪大学大学院医学系研究科附属  
最先端医療イノベーションセンター (CoMIT)
- 大阪大学大学院工学研究科
- テクノアリーナ 細胞製造コトづくり拠点
- 大阪医科薬科大学
- 大阪公立大学
- 大阪歯科大学
- 関西医科大学
- 近畿大学

#### <インキュベーション施設>

- Nakanoshima Cross
- 彩都ライフサイエンスパーク
- ターンキーラボ健都

### 奈良県

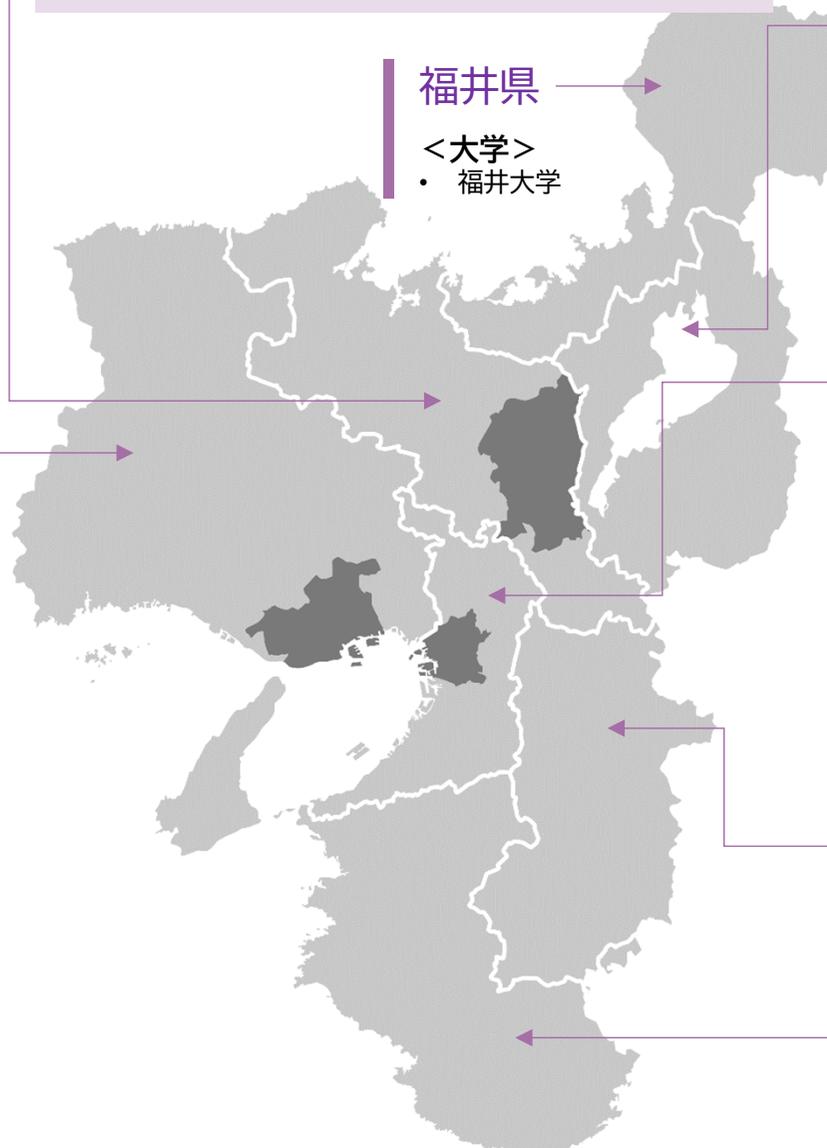
#### <大学>

- 奈良県立医科大学

### 和歌山県

#### <大学>

- 和歌山県立医科大学



(出所)近畿経済産業局「関西の再生医療関連拠点MAP」

## 1-2 再生医療に取り組む主な研究機関の紹介

### 京都大学iPS細胞研究所(CiRA)

<https://www.cira.kyoto-u.ac.jp/>

iPS細胞を使った研究を柱として、再生医療の普及、個別化医薬の実現と難病の創薬、新たな生命科学と医療の開拓を目指した基礎研究を行っています。研究支援体制や研究環境の整備にも力を入れています。



### 大阪大学大学院工学研究科 テクノアリーナ 細胞製造コトづくり拠点

[https://www-bio.eng.osaka-u.ac.jp/ps/kotozukuri\\_top.htm](https://www-bio.eng.osaka-u.ac.jp/ps/kotozukuri_top.htm)

新たな概念「細胞製造性」を学問の礎とし、複数企業と強く連携し技術開発(モノづくり)を中心に、エキスパート形成に向けたリカレント教育(ヒトづくり)、国内規制や国際標準化などのガイドラインや指南書の作成(ルールづくり)を行い、コアジャパン(コトづくりを実現できる頭脳集団)の形成を目指しています。



### 神戸大学医学部附属病院 国際がん医療・研究センター(ICCRC)

<https://www.hosp.kobe-u.ac.jp/iccrc/>

ICCRCは神戸医療産業都市内にありリサーチ・ホスピタルという特徴も持っています。国産手術支援ロボットhinotori™の開発拠点としてロボット・トレーニングセンターが整備され、未来医工学研究開発センターなど新規医療・研究を推進する体制が整っています。



### 未来医療国際拠点 Nakanoshima Qross

<https://www.nakanoshima-gross.jp/>

医療機関と企業、スタートアップ、支援機関等が一つ屋根の下に集積する、他に類を見ない未来医療の産業化拠点です。再生医療をベースに、医療技術の進歩に即応した最先端医療の産業化推進、国際貢献推進を目指しています。



### 大阪大学大学院医学系研究科附属 最先端医療イノベーションセンター(CoMIT)

<http://www.comit.med.osaka-u.ac.jp/>

平成26年4月に設置され「最先端医療の開発とオープンイノベーションの推進」をコンセプトに、多様な分野の企業・研究機関と連携し、次世代新薬や革新的医療技術の研究開発に取り組んでいます。



(出所)近畿経済産業局「関西の再生医療関連拠点MAP」

## 1-3 再生医療のネットワーク、プロジェクト

### 主な再生医療のネットワーク

#### 関西再生医療産業コンソーシアム(KRIC)

関西再生医療産業コンソーシアム  
(KRIC: Kansai Regenerative medicine Industrial Consortium)



近畿経済産業局と公益財団法人新産業創造研究機構(NIRO)が連携して2015年8月に設立しました。再生医療分野に参入する企業のニーズを基にした企業間連携支援や、中小企業と大企業等とのビジネスマッチング、中小企業に対する人材育成等を通じて、関西における再生医療の実現加速化と新産業の創出を目標にしています。

KRIC参加登録はこちらから



<https://www.kansai.meti.go.jp/2-4bio/KRIC/sankatouroku.html>

### 注目のプロジェクト

#### 京都大学iPS細胞研究財団 my iPS プロジェクト



<https://www.cira-foundation.or.jp/j/about/project/myips/>

京都大学iPS細胞研究財団は、医療用iPS細胞の製造や保管、品質評価等の技術を産業界へ橋渡しする役割を担う公益財団法人です。本拠地・京都に加え、研究エリア拡大のため、大阪市内のNakanoshima Crossにも入居し「my iPS研究所」を設置しました。

本施設では「my iPSプロジェクト」と題して、iPS細胞を装置で自動的に製造するための技術開発を行うなど、共同研究先企業の皆様とともに様々な課題に挑戦しています。



公益財団法人京都大学iPS細胞研究財団  
「my iPS研究所」の看板



研究の様子

## 2-1 医療機器分野の状況

### 関西は医療機器の事業化推進のハブ

厚生労働省が推進する「優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点」として、関西から全国最多の6つの拠点が採択されています。

関西では、経済産業省が推進する医療機器開発エコシステム「地域連携拠点」である大阪商工会議所が、関西医療機器産業支援ネットワークと連携して、他地域の「優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点」とも連携し、医工連携を推進しています。

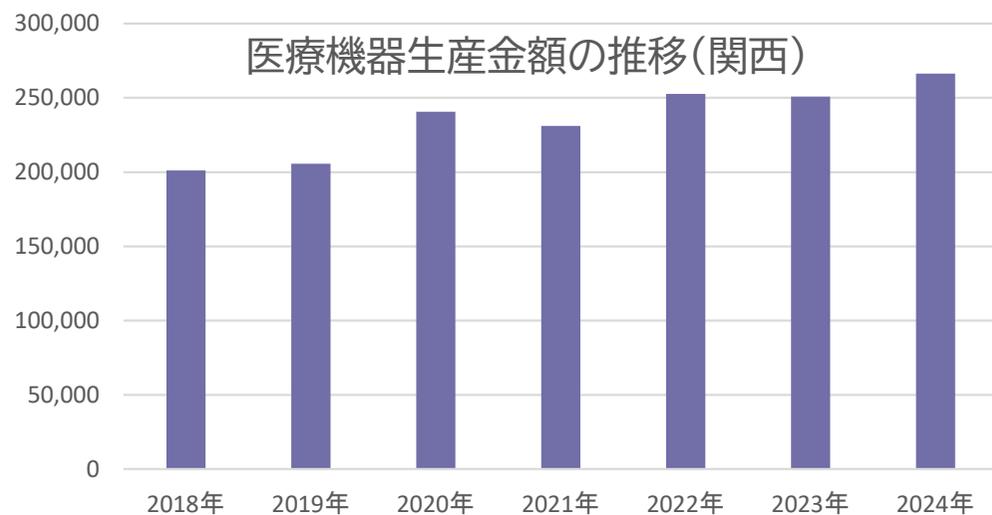


(出所)AMED令和5年度「優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点強化事業」

### 医療機器産業の生産金額の推移

関西地域には、バイオ・医療機器分野で資本力や高い研究開発力、販売力を持つ大企業、独自の高い技術力やノウハウを持つベンチャーなどの中小企業、最先端の研究開発を進める研究機関が揃っています。

医療機器生産金額では、関西地域は全国の約10%を占めており、増加が続いています。



単位:百万円

(出所)厚生労働省「令和5年薬事工業生産動態統計年報」

## 2-2 関西医療機器産業支援ネットワーク(KMSN)



関西医療機器産業支援ネットワーク(KMSN、愛称「かめさんネット」)は、ものづくり企業やベンチャー企業等の医療機器産業への新規参入や医療機器開発を支援することを目的に設置されました。関西地域の産業支援機関・自治体と緩やかなネットワークを構築し、地域の自律的な取組をベースに、他機関と連携すべき事業や、関西として面的に取り組むことで効果増大が期待される事業を共同で実施します。

17の産業支援機関とのネットワークにより、「支援人材／コーディネーターの育成・共有」、「地域ボーダレスのハンズオン支援」、「対外プロモーション／海外展開支援」、「異分野の融合による医療イノベーションの促進」の4つの観点から活動しています。

### 京都府

- ・ (公財)京都産業21
- ・ (公財)京都高度技術研究所
- ・ 京都リサーチパーク株式会社

### 兵庫県

- ・ (公財)新産業創造研究機構
- ・ (公財)神戸医療産業都市推進機構
- ・ 姫路商工会議所

### 和歌山県

- ・ (公財)わかやま産業振興財団

### 福井県

- ・ 福井しあわせ健康産業協議会

### 滋賀県

- ・ (公財)滋賀県産業支援プラザ

### 大阪府

- ・ 大阪商工会議所
- ・ (公財)堺市産業振興センター
- ・ 八尾市立中小企業サポートセンター
- ・ (地独)大阪産業技術研究所
- ・ (公財)東大阪市産業創造勤労者支援機構
- ・ 大阪バイオ・ヘッドクォーター
- ・ (一財)大阪デザインセンター

### 奈良県

- ・ (公財)奈良県地域産業振興センター

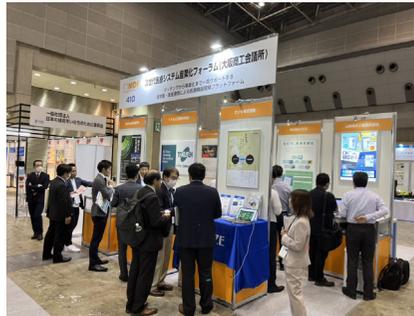
## 2-3 医療機器分野を支える支援機関の取組

### 次世代医療システム産業化フォーラム (大阪商工会議所)

<https://www2.osaka.cci.or.jp/mdf/>



異業種から医療分野への新規参入や新ビジネス創出を目的とした全国最大規模の医工連携プラットフォーム。四半世紀に亘り、医療機器開発のあらゆるステージを対象とした充実した支援プログラムを展開。



### Healthcare Venture Conference(HVC) KYOTO (ジェトロ、京都府、京都市、京都リサーチパーク(株))

<https://www.krp.co.jp/hvckyoto/>



10周年を迎えるヘルスケア領域における革新的な技術を持つ国内外のスタートアップと、オープンイノベーションに積極的な国内外の事業会社や、ベンチャーキャピタル・インキュベーター等からなるHVCパートナーが集まるイノベーションプラットフォーム。



### 京MED (公財)京都産業21)

<https://www.ki21.jp/matching/kyomed/>



医療・介護向け異業種連携チームで、医療・介護分野への参入を目指す企業とそれをサポートする企業で構成。販路開拓やニーズ保有企業・同開発の連携先等のマッチング支援についても協力。



三菱京都病院での製品内覧会

### Kansai Life Science Accelerator Program(KLSAP) (神戸医療産業都市推進機構・神戸市)

<https://www.fbri-kobe.org/kbic/klsap/>



ライフサイエンス系スタートアップ企業の米国を中心としたグローバル展開支援を目的としたアクセラレータープログラム。多様なアドバイザーによるメンタリングや充実したアドバイザリーセッションならびに投資家、起業家、事業会社とのネットワークを構築。



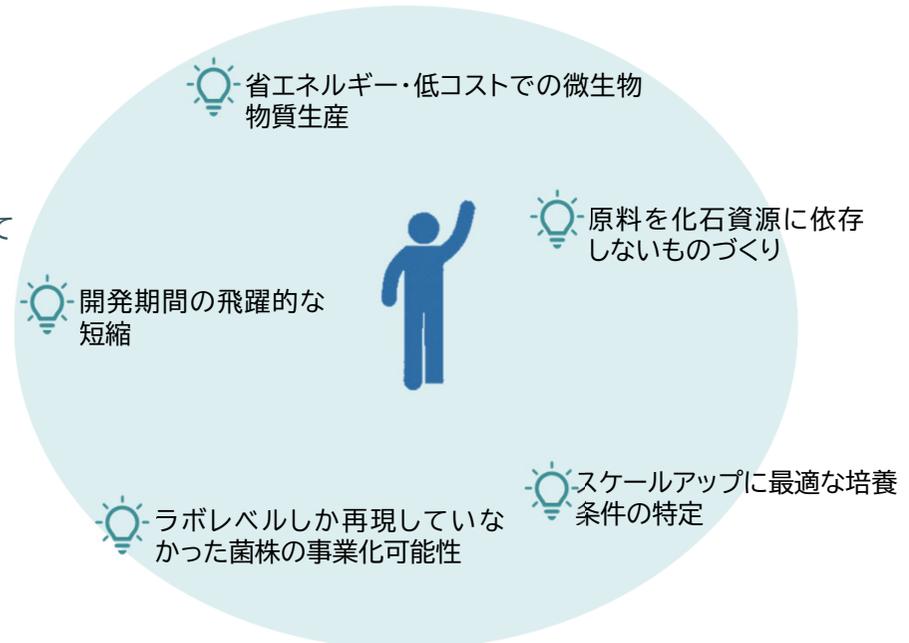
ピッチセッションの様子(KLSAP)

## 3-1 バイオものづくりを取り巻く環境

これまでのバイオものづくりは、菌株の選抜・育種・培養条件の最適化・生産スケールアップ検討など、開発の各フェーズに課題があり、バイオ由来製品の社会実装が進みづらくなっていました。現在、AI・ITなどのデジタル技術、ロボット工学、合成生物学の技術を駆使した「バイオファウンドリ」が関西を中心に整備され、バイオものづくりの取組が活発化しています。



バイオものづくりは脱炭素社会において幅広い産業分野が共通して抱える課題を解決できる可能性を秘めています。



(出所)近畿経済産業局「バイオものづくりを加速させる関西のバイオファウンドリ」

### バイオファウンドリとは

バイオファウンドリとは、合成生物学等の技術開発に必要な装置群を集積・オートメーション化した技術パッケージのことです。バイオものづくりの社会実装には、技術・製品開発のフェーズに応じて、合成生物学のDBTLサイクルを構築するラボレベルのバイオファウンドリに加え、生産プロセスのバイオファウンドリがカギを握ります。

(出所)経済産業省『バイオ政策の進展と今後の課題について(2023年5月12日付)』

### バイオものづくりの製品例



生分解性バイオプラスチック：  
パーム油を原料に遺伝子改変微生物が産出@カネカ

## 3-2 関西のバイオファウンドリ

関西のバイオファウンドリ基盤は、バイオものづくりのニーズから生産に至るまで一貫通貫でマネジメントします。現在関西では、以下のプロジェクトを中心とし、全国に先駆けてバイオファウンドリ基盤が整備され、産業化に向けた取り組みが活発化しています。

微生物や遺伝子の選抜

微生物の高機能化(育種)

スケールアップ  
培養条件

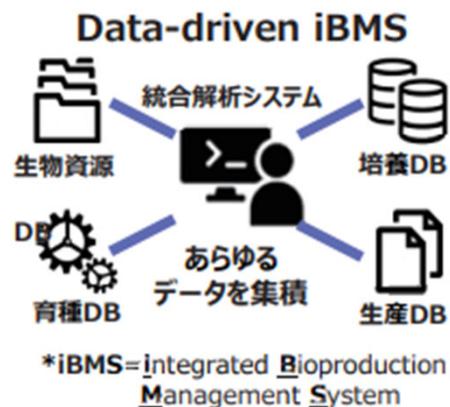
生産

バイオものづくり製品の市場投入、産業化

### 培養データ駆動型統合バイオ生産 マネジメントシステムの構築・運営

取組の中心機関: 京都大学

- 京都大学では、培養条件・評価方法を標準化し、データ共有を推進する情報基盤・司令塔機能を整備しています。
- 集約した生物資源・育種・培養・生産に関するデータを広く産業界で活用できるように環境整備をしています。(Data-driven iBMS)



### バイオ生産プロセスの基盤開発

取組の中心機関: 大阪大学、大阪工業大学、京都大学、ちとせ研究所

- 大阪大学・大阪工業大学では、様々な生産規模での培養再現性(スケラビリティ)を確保(P1およびP2レベル・遺伝子組換え)
- 京都大学・ちとせ研究所では、標準培養装置の並列化、AI化・自動化・シングルユース技術の開発を行っています。

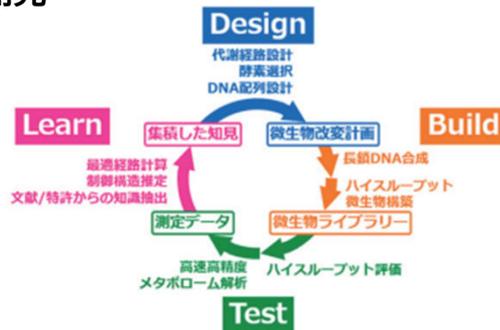


大阪大学・大阪工業大学の各種標準培養装置

### 高機能な酵素や細胞工場群を迅速に多数獲得 できる汎用性の高いプラットフォームの開発

取組の中心機関: 神戸大学

- 神戸大学では、植物や微生物を用いた高機能生産技術の開発(スマートセルプロジェクト)の成果として、オートメーションを導入したパイロットラボを既に整備しています。



### 3-3 バイオものづくり関連拠点マップ

バイオものづくりを関西・日本の経済を牽引する成長産業の柱として育てていくため、更なるニーズ・投資・人材の呼び込みをはじめ、国の戦略・シナリオに示す様々な取組の推進、施策の検討を行い、社会実装を推進する「バイオものづくり・エコシステム」の形成を目指します。

#### 京都府

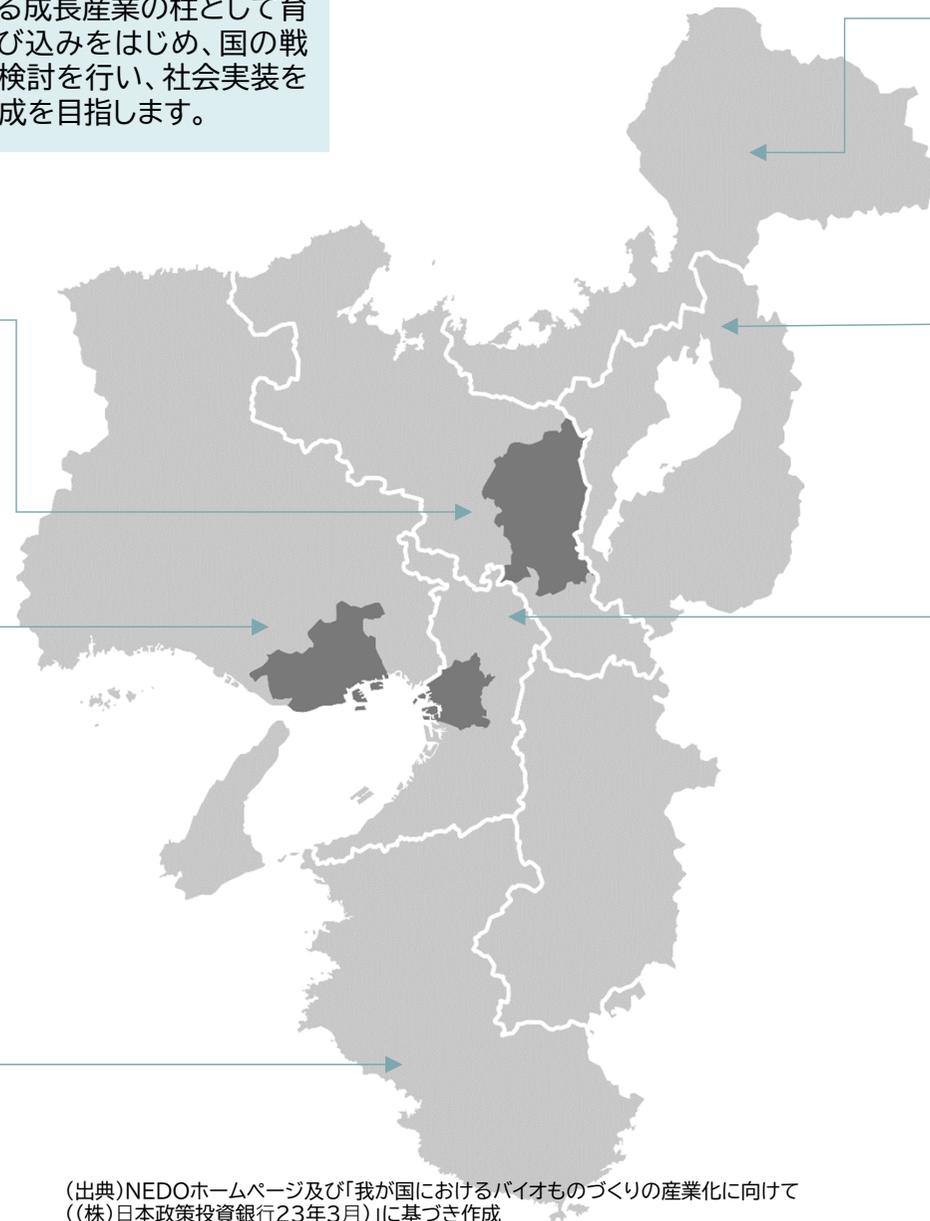
- <京都市>
- ・ 京都大学
  - ・ 京都市産業技術研究所
  - ・ (株)島津製作所
  - ・ Symbiobe(株)
  - ・ (株)ちとせ研究所

#### 兵庫県

- <神戸市>
- ・ 神戸大学
  - ・ 神戸天然物化学(株)
  - ・ (株)シンプロジェン
  - ・ (株)バックラス・バイオイノベーション
  - ・ 国立研究開発法人理化学研究所

#### 和歌山県

- <和歌山市>
- ・ 花王(株)



#### 福井県

- <敦賀市>
- ・ 東洋紡(株)
  - ・ バイオテクノロジー研究所

#### 滋賀県

- <草津市>
- ・ タカラバイオ(株)

#### 大阪府

- <大阪市>
- ・ 大阪工業大学
  - ・ 大阪ガス(株)
  - ・ (株)カネカ
  - ・ サラヤ(株)
  - ・ 住友化学(株)
  - ・ 積水化学グループ
  - ・ (株)ダイセル
  - ・ 東レ(株)
  - ・ 長瀬産業(株)
  - ・ (株)ミツワフロンテック
- <東大阪市>
- ・ 近畿大学
- <池田市>
- ・ 産業技術総合研究所 関西センター
- <吹田市>
- ・ 大阪大学
- <泉佐野市>
- ・ 不二製油グループ

(出典)NEDOホームページ及び「我が国におけるバイオものづくりの産業化に向けて ((株)日本政策投資銀行23年3月)」に基づき作成

## 4-1 asap Lange Japan株式会社

### 事業概要

- ・2023年9月に、上海の医療機器メーカーであるLange MedTech社(※1)の、グループ1社目の海外支社として神戸に設立。
- (※1)2022年12月にドイツの内視鏡メーカー-asap endoscopic products社を買収し、内視鏡下治療の分野に事業を拡大しています。
- ・中国・ドイツで製造された医療用内視鏡及び外科用手術機器などの日本における輸入販売拠点であり、薬事承認等を取得後、順次製品の販売を開始しています。



#### ●関西への進出経緯を教えてください

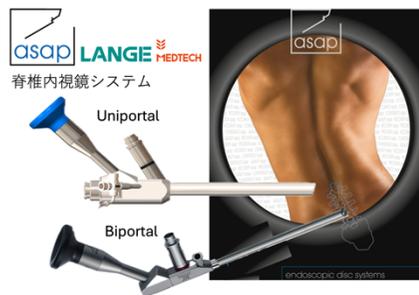


神戸に進出を決めた理由の1つめは、**神戸ポートアイランドの医療産業クラスター「神戸医療産業都市」**の存在です。そこに支援者がいる、ということはもちろんのこと、クラスター内で医療機器の実証や薬機法下における製品の導入に関する相談やコンサルティングといったサービスが提供されているということは当社にとって大きなメリットでした。

2つめは、**JETRO神戸による充実したサポートとワンストップ機能**です。JETRO神戸に進出についての相談をしたところ、自治体はじめ必要な手続きのサポート機関へとシームレスに繋いでもらうことができ、スムーズにビジネスを始めやすい環境にあると考えました。

#### ●神戸の魅力は？

神戸は**物流環境が整っており**、当社のように輸入販売を行う業種にとってはとても魅力的な地域です。大きな港があり、さらに来年には神戸空港の国際便就航が予定されています。また、**家賃などコスト全般が安価**ということも魅力です。特に家賃は東京の一等地と比べて約3~4割は安いいため、**初期投資が安価で黒字化を早めることができ**、ビジネスを続けやすい環境であると感じています。



#### ●進出時には、どのような公的サポートを活用しましたか？

ジェットロ神戸のワンストップサービスを活用し、多方面の公的サポートを受け、ビジネスをスタートしました。

- ・**JETRO神戸**: 英語および中国語対応が可能な土業、その他協力企業の紹介
  - ・**ひょうご・神戸投資サポートセンター**: オフィスの紹介
  - ・**兵庫県**: 賃料補助(※2)
  - ・**神戸市**: 銀行の紹介、賃料補助(※2)
- (※2)兵庫県と神戸市が各々25%ずつ補助



特に、銀行口座開設や土業との契約など必要な手続きを早期に完了させることができたのは、公的機関のサポートがあったからだと思っています。

#### ●これから進出を考えている企業へのメッセージ

神戸は、これから日本市場に参入を考えている企業にふさわしい地域だと思えます。風土も法律も違う中、**環境整備がされ受入体制が整っている**ことは、進出する際にとっても心強いものです。また、仕事以外の生活という観点から見ても、どこへ行くにも**利便性が高い上に自然もたくさんある**ため、充実した生活を送ることができると思います。さらに、阪神・淡路大震災を経験した神戸は、災害への対策がとられた防災力の高い地域でしょう。



代表取締役社長 太田昇氏

#### 会社概要

会社名	asap Lange Japan株式会社
所在地	神戸市中央区播磨町49番地 神戸旧居留地平和ビル7階
進出形態	一次投資
会社HP	<a href="http://en.langemedtech.com/">http://en.langemedtech.com/</a>

## 4-2 DOLA株式会社

## 事業概要

- ・DOLAは、足病医のClaire Nichols氏とLuke Sinclair氏によってオーストラリアのゴールドコーストで設立。カスタムメイドのインソールソリューションや医療機関向けの教育プログラムを提供。
- ・2024年には、その理念を日本に広めるためにDaniel Wiendl氏がDOLA株式会社を設立。DOLAの創設者に加え、ドイツとオーストラリアで豊富な経験を持つ国際的な足病医の専門家チームが揃い、インソール分野における専門知識を日本市場に提供することを目指している。



## ●関西への進出経緯を教えてください



オーストラリアでは、足病医は「フットドクター」として認識されており、足や膝、股関節などの不調や運動機能に関連する問題について、最初に相談されます。一方、日本では整形外科医にかかるのが一般的で、痛みが強くなるまで受診を躊躇し、足の痛みや疲れを抱えながら生活しがちです。

そんな足の悩みを、**足底医学的アプローチで気軽に解決する手法を日本に根付かせたい**というのが、当社の日本への進出理由です。日本ではなじみのないビジネスをゼロから築くため、**土地勘があって、当社の顧客ターゲット層を特定しやすい地域からスタートするのが賢明だ**と考え、CEOのDaniel Wiendl氏が以前に住んでいた関西の地を選びました。最終的には、**市場規模と顧客ターゲット層**とを考慮し、進出先を大阪に決めました。

## ●関西の魅力は？

予想を超えるお客様に来店いただき、驚きと同時に、多くの日本人が足に悩みを抱えていることを改めて実感しました。トレーニングセミナーを開催するにも、西日本各地からアクセスが良い大阪は、**集客しやすい場所**だと感じています。



さらに、関西の人々は気さくで率直な意見を言う方が多いため、履き心地を確認しながらインソールを試してもらう際に、**お客様とコミュニケーションが取りやすい**ことは大きな助けになっています。

**関西国際空港の利便性**も、関西の大きな強みです。オーストラリアと関空を結ぶ直行便が増え、関西との行き来がさらに便利になりました。

## ●進出時には、どのような公的サポートを活用しましたか？

## JETRO大阪：開業手続サポート

(銀行口座開設、登記手続、物件紹介、PRサポート等)

海外在住の外国人が直面する銀行口座の開設や法人登記手続きといった障壁については、オーストラリア人と日本人の双方がCEOという体制のおかげで比較的スムーズに進められましたが、それでも時間を要しました。同様に、不動産契約も高いハードルとなります。

そこで、当社はまずJETROのシドニー事務所に相談し、JETRO大阪からサポートを受けました。特に店舗物件探しの際には、当社の顧客ターゲット層を伝え、それを基に適切な物件を紹介してもらいました。

## ●これから進出を考えている企業へのメッセージ

進出予定地域の特性や人口構成、どのような属性の人々が多いのかといった情報は、海外に在住しているとなかなか入手しづらいですが、ビジネスを成功させるには欠かせない要素です。そのため、**現地の情報に精通したサポート機関にアプローチ**し、こういった観点の**アドバイスを**受けることが重要です。進出を検討している企業は、ぜひ積極的にサポート機関を活用し、成功への第一歩を踏み出してください。



CEO Daniel Wiendl 氏

## 会社概要

会社名	DOLA株式会社
所在地	大阪市西区江戸堀 1-6-13 肥後橋堀田ビル102
進出形態	一次投資
会社HP	<a href="https://dolajapan.com/">https://dolajapan.com/</a>

## 4-3 メドテックアクチュエーター合同会社

### 事業概要

- ・2018年にオーストラリア・メルボルン市にて設立された医療・ヘルスケア分野のスタートアップ支援組織。
- ・2024年10月、大阪に東アジア初となる拠点を設立。
- ・スタートアップ海外展開支援のため、アクセラレータープログラムの実施、国際的なピッチコンテストへの参加支援、海外の医療機関や投資家とのコーディネート等を非営利で実施しています。



#### ●関西への進出経緯を教えてください



日本特に関西では、医療関連の優れたスタートアップが多数いるにもかかわらず、うまく事業化できず育たない課題がありました。このような状況を解決するため、当社は日本への進出を決めました。その中でも大阪を選んだ理由は、**顔の見えるエコシステムの形成**ができると感じたためです。特に医療系のエコシステムにおいては、人と人とのシームレスなつながりが求められます。大きすぎない規模で各機関と

連携していくには、大阪は当社の拠点にぴったりな場所であり、また、京都や神戸を含め、関西には優れた大学や研究機関、医療関連施設が集積しており、**イノベーションの源泉がある**ということも強みだと思います。そして、2025年に**万博**が大阪で開催されることも、進出の大きな決め手でした。今後世界各国の医療関係者が集まると予想されている大阪の地に、日本市場に詳しい医療系のアクセラレーターがあれば、非常に重要な役割を果たせると考えています。

#### ●関西の魅力は？

**親しみやすく、フレンドリーな人が多い**ところです。外資系企業だからといって距離を置かれることがなく、「医療分野におけるスーパーヒーローをサポートしている組織」と自社紹介をすると**自分たちの思いに呼応してくれる**雰囲気があります。まだ日本拠点を設立して間もないですが、いくつもの新聞に取り上げていただき、**歓迎される環境**であると感じています。



#### ●進出時には、どのような公的サポートを活用しましたか？

拠点設立の手続きで様々な機関の公的サポートを活用しました。

- JETRO大阪:** テンポラリーオフィス利用、英語対応の税理士・会計士の紹介
- O-BIC:** 法務関係の専門家(行政書士等)の紹介
- KECC:** 労務関係手続き等の相談
- 大阪産業局:** 人材の相談



自社で行うとなると、かなりの時間を要したと思います。サポートのおかげで、格段に早く、約2ヶ月で手続きを完了させることができました。

#### ●これから進出を考えている企業へのメッセージ

早い段階で、**相談に乗ってくれるハブ機関を見つける**ことが重要です。サポーターがいなければ何事も前に進まないですし、**使えるサポートはフル活用**すべきです。また当社は日本に拠点を設立するにあたって、東京・仙台・広島など**ほかの地域との比較検討**をじっくりと行いました。実際に様々な地域に足を運び、各地で公的機関・アドバイザーとのつながりを持つことが、進出をする上で大事なプロセスだと考えています。



CEO Buzz Palmer 氏

#### 会社概要

会社名	メドテックアクチュエーター合同会社
所在地	大阪府大阪市北区大深町6-38 JAM BASE9階(グラングリーン大阪北館)
進出形態	一次投資
会社HP	<a href="https://medtechactuator.com/">https://medtechactuator.com/</a>

## 5-1 関西地域のインキュベーション施設

関西地域では、新事業創出の促進とともに、地域社会への貢献を目的に、国、中小企業基盤整備機構、自治体、民間等の協力による共同事業として、各地域にバイオインキュベーション施設が整備され、バイオベンチャー企業育成に貢献しています。

●京都府	●大阪府	●兵庫県	●福井県
京大桂ベンチャープラザ	大阪公立大学インキュベータ	神戸医療機器開発センター(MEDDEC)	福井県産業情報センター インキュベートルーム
クリエイション・コア京都御車	大阪産業局 テクノシーズ泉尾	神戸健康産業開発センター(HI-DEC)	●滋賀県
京都リサーチパーク(KRP)	LINK-Jオフィスラボ ライフサイエンスハブウエスト	神戸バイオメディカル創造センター(BMA)	龍谷大学 RECLレンタルラボ
京都バイオ計測センター(KIST-BIC)	さかい新事業創造センター(S-Cube)	こうべ未来都市機構(賃貸オフィス)	滋賀県立テクノファクトリー
京都高度技術研究所(ASTEM) イノベーション創出コミュニティ(STC3)	クリエイション・コア東大阪	神戸国際ビジネスセンター(KIBC)	立命館大学 BKCインキュベータ
京都市成長産業創造センター(ACT Kyoto)	とよなか起業・チャレンジセンター	神戸ハイブリッドビジネスセンター(KHBC)	滋賀県工業技術総合センター 企業化支援棟 技術開発室(レンタルラボ)
京都大学ベンチャーインキュベーションセンター(KUViC)	産業技術総合研究所 関西産学官連携研究棟(かんさいOSL)	次世代医療開発センター(共用機器室)(HBI)	滋賀県立大学 地域産学連携センター
イノベーションハブ京都	彩都バイオインキュベータ、 彩都バイオイノベーションセンター、 彩都バイオヒルズセンター	神戸臨床研究情報センター(TRI)、 国際医療開発センター(IMDA)	長浜バイオインキュベーションセンター(NBIC)
宇治ベンチャー企業育成工場	大阪大学産業科学研究所 企業リサーチパーク	計算科学振興財団(FOCUS) 高度計算科学研究支援センター	●奈良県
同志社大学連携型起業家育成施設(D-egg)	枚方市立地域活性化支援センター	クリエイティブラボ神戸(CLIK)	やまと創業インキュベータ 大和高田
けいはんなプラザ オフィス・ラボスペース	八尾インキュベートルーム	尼崎リサーチ・インキュベーションセンター(ARIC)	●和歌山県
けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)	大阪産業技術研究所和泉センター 開放研究室	テクノフロンティア伊丹	和歌山県立情報交流センター Big・U
	東大阪市立産業技術支援センター	UNOPS Global Innovation Center JAPAN (GIC JAPAN)	

## 5-2 関西の対日投資サポート体制

- ・ ジェトロ対日投資・ビジネスサポートセンター(IBSC)では、関西に進出を考えている外国企業に対し、情報提供や個別コンサルテーションなどの各種支援を行っています。
- ・ 各自治体等による対日投資サポート機関でも、様々なワンストップサービスを提供しています。

## 関西へのファーストコンタクト窓口

対日直接投資誘致機関であるジェトロは、外国企業が日本に進出し国内市場でビジネスを拡大するための支援として、日本のビジネス環境に関する情報発信から、対日直接投資に関心のある企業の発掘、日本での拠点設立支援、日本国内でのビジネス拡大の支援までを一貫して行います。

対日投資をサポートする窓口が関西各府県にあります



**大阪** ジェトロ対日投資・ビジネスサポートセンター大阪(ジェトロIBSC大阪)  
TEL: 06-4705-8660 URL: <https://www.jetro.go.jp/jetro/japan/osaka>

**兵庫** ジェトロ対日投資・ビジネスサポートセンター神戸(ジェトロIBSC神戸)  
TEL: 078-231-3081 URL: <https://www.jetro.go.jp/jetro/japan/kobe>

**福井** ジェトロ福井貿易情報センター  
TEL: 0776-33-1661 URL: <https://www.jetro.go.jp/jetro/japan/fukui>

**滋賀** ジェトロ滋賀貿易情報センター  
TEL: 0749-21-2450 URL: <https://www.jetro.go.jp/jetro/japan/shiga>

**京都** ジェトロ京都貿易情報センター  
TEL: 075-341-1021 URL: <https://www.jetro.go.jp/jetro/japan/kyoto>

**奈良** ジェトロ奈良貿易情報センター  
TEL: 0742-88-0070 URL: <https://www.jetro.go.jp/jetro/japan/nara/>

**和歌山** ジェトロ和歌山貿易情報センター  
TEL: 073-425-7300 URL: <https://www.jetro.go.jp/jetro/japan/wakayama>

## 京阪神の主な対日投資サポート機関

京阪神への進出を希望する外国企業、外国公館・経済団体、また2次進出を希望する在日外資系企業に対して、必要とされる情報を提供し、的確なアドバイスをするなどキメ細かなサポート体制が整ったワンストップ・サービス・センターとして活動しています。

京都	 <b>京都海外ビジネスセンター</b> kyoto-obc.jp 京都海外ビジネスセンター TEL: 075-366-4364 URL: <a href="https://www.kyoto-obc.jp/">https://www.kyoto-obc.jp/</a>
大阪	 <b>O-BIC</b> Osaka Business and Investment Center 大阪外国企業誘致センター(O-BIC) TEL: 06-6944-6298 URL: <a href="https://o-bic.net/j/">https://o-bic.net/j/</a>
大阪	 <b>IBPC大阪</b> 一般財団法人大阪国際経済振興センター 国際部(IBPC大阪) TEL: 06-6615-7130 URL: <a href="https://www.investosaka.jp/">https://www.investosaka.jp/</a>
兵庫	 <b>HKIS</b> ひょうご・神戸投資サポートセンター ひょうご・神戸投資サポートセンター TEL: 078-271-8400 URL: <a href="https://hyogo-kobe.jp/best/">https://hyogo-kobe.jp/best/</a>

### 5-3 対日投資促進関連インフォメーション

#### 外国・在日外資系企業向けのインセンティブ等 外国・在日外資系企業の日本での事業可能性調査支援(対内直接投資促進事業費補助金)

目的	外国・在日外資系企業による日本への革新的な技術やビジネスモデル等の導入・展開を支援するため、外国・在日外資系企業の日本への投資・事業拡大や日本企業との協業に関する事業可能性調査費用を補助。	
内容	対象企業	①在日外資系企業： 単独又は日本企業・研究機関等との連携 ②日本企業： 外国企業又は在日外資系企業と協業連携
	対象事業	製造、ヘルスケア、グリーン、その他デジタル関連技術(モビリティ、Fintech、卸・小売り)等分野において、日本への技術・ビジネスモデル等の導入に資するもの。特に半導体・マイクロエレクトロニクス、ライフサイエンス、脱炭素分野を重視。
	補助金額・上限	1件あたり2,000万円(中小企業1/2補助、大企業1/3補助)
	対象事業要件	在日外資系企業もしくは協働先の外国企業が、日本での投資・事業拡大・協業連携等の具体的プロジェクトを有しており、本事業の実施により、日本への進出・日本国内での協業連携案件創出が促されるものであること など
詳細・最新情報	ジェトロ 対内直接投資促進事業費補助金 公募について <a href="https://www.jetro.go.jp/invest/support_programs/incentive/tainitoushi_koubo.html">https://www.jetro.go.jp/invest/support_programs/incentive/tainitoushi_koubo.html</a> 	
問い合わせ先	ジェトロ ビジネスデベロップメント課(実証担当) TEL:03-3582-5644	

#### 関西の対日投資関連PRコンテンツ

##### 【INVEST JAPAN, INVEST KANSAI】

[https://www.kansai.meti.go.jp/3-1toukou/invest\\_kansai/index.html](https://www.kansai.meti.go.jp/3-1toukou/invest_kansai/index.html)

関西経済の概要をはじめ、充実したインフラ・立地、大学・研究機関や多様な産業の集積、管内主要自治体のサポート情報等、多岐にわたる情報をコンパクトに紹介しています。

【全体版】



▲冊子 2025年版

【分冊版】



▲サーキュラーエコミー編



▲イノベーション編



▲水素編



動画でも投資環境として関西が持つ魅力や強みを紹介しています。

5分動画 >> <https://youtu.be/ANHz-82Uars>  
 short動画 >> <https://youtu.be/ET8MKZb4IFQ>



▲動画-5分版-



▲動画-short版-



関西への対日投資に関するワン・ウィンドウ

対日投資 関西



## 本冊子に係るお問い合わせ先

---

経済産業省 近畿経済産業局 国際部 投資交流促進課  
〒540-8535 大阪府大阪市中央区大手前1丁目5-44  
TEL: 06-6966-6033 E-mail: [bzl-invest-japan-kansai@meti.go.jp](mailto:bzl-invest-japan-kansai@meti.go.jp)  
URL: <https://www.kansai.meti.go.jp/taichitoushi.html>

本書は出典を明らかにしていただければ、自由に引用していただけます。  
ただし、写真については転載・複写はできません。詳細はお問い合わせください。

(2025年4月発行)